

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 12月 8日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902603		
法人名	有限会社 ヘルプ		
事業所名	グループホーム 福寿草		
所在地	旭川市永山2条23丁目1番22号 (電話) 0166-40-4077		
評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成21年11月30日	評価確定日	平成21年12月11日

【情報提供票より】(平成 21年 10月 19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年 3月 27日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	17 人
職員数	16 人	常勤 11人、非常勤 5人、常勤換算	14.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1、2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費12,000円	
敷金	有(円)	(無)	暖房費9,000円(10月-4月)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(11月 24日現在)

利用者人数	17名	男性	6名	女性	11名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 79.2歳	最低	68歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団東旭川宏生会林医院 やぶしたフラワー歯科医院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は学生寮を改築した建物を使用しているが、木目調で統一されており、家庭的で、利用者はゆったりと、あたかも自宅で暮らしているような雰囲気である。2階の居間兼食堂の片側はすべて窓になっており、近所の庭が眺められ、開放感がある。窓際にソファがいくつも置かれ、利用者がそれぞれにくつろぐスペースが確保されている。「ここは我が家だ」という理念に基づいて職員と利用者は親しみを持って信頼関係を築いている。母体の医療機関と24時間の医療連携がとれており、また、看護師の定期的な訪問による健康管理も行われている。利用者のADL維持のために、毎朝体操と歌を、3時にまた体操を行っている。誕生日には利用者の好きな料理やケーキ作り、収穫した枝豆でずんだもちを作るなど利用者の希望に沿うケアを行っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での主な改善課題は、職員全体で話し合い、改善シートを用い、優先順位を決めて改善されている。管理者のアイデアで、介護計画と介護日誌の連動の記載方法においてフォルダーを工夫し、記載しやすいように独自のものを作り上げている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は職員全員に自己評価表を配布し、各自で記入してもらい、日々のケアの振り返りの時としている。自己評価、外部評価とともに、評価後、改善課題について全職員で話し合い前向きに検討し、改善につなげている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は民生委員、地域の有識者、家族、職員が参加し、2ヶ月に1度開催されている。会議では、事業所の活動内容や、利用者の行方不明者がでた場合、また、火災の場合の非常時の地域協力体制が話し合われ、地域の方が緊急連絡網に加わることの承諾が得られ、具体的な成果が得られた。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族との信頼関係を築きながら、意見、要望を言いやすい雰囲気作り努めている。苦情、相談窓口が母体の法人窓口になっており、また、面会簿の個票に意見欄を設けるなどとして、直接言いにくいことも伝えられるような工夫をしている。意見があれば会議で検討し、運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、清掃活動や廃品回収に参加、また、近隣の大学祭や幼稚園のお遊戯会の見学、近所の方から野菜を頂くなど、交流が徐々に浸透してきている。また、非常時の地域協力も地域の方が連絡網に加わり、協力体制を構築している。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ここは我が家」という事業所の最高モットーと「普通の家で、普通の生活、普通の人生を」などの根本運営理念7箇条を掲げ、職員間で共有している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を見やすい所に掲示するとともに、職員は理念をよく理解し実践しており、利用者が我が家のようにくつろいでもらうように日々努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、清掃活動や廃品回収に参加、また、近隣の大学に学園祭や幼稚園のお遊戯会の見学、近所の方から野菜を頂くなどの交流が浸透してきている。また、非常時の地域協力も地域の方が連絡網に加わり、協力体制を構築している。		お便り「福寿草」を町内会の回覧板でまわしてもらう予定で、地域の方に事業所を知ってもらい、交流のきっかけになることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員に自己評価表を配布し、記入してもらい、日々のケアの振り返りの時としている。自己評価、外部評価の評価後、改善課題について職員全体で話し合い前向きに検討し、改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は民生委員、地域の有識者、家族、職員が参加し、2ヶ月に1度開催されている。会議では、事業所の活動内容や、利用者の行方不明者がでた場合、また、火災の場合の非常時の地域協力体制が話し合われ、連絡網に地域の方が加わることの承認が得られ、地域の協力体制が構築された。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者に料金体制やスプリンクラーの補助についてなど、わからないことを問い合わせしており、連絡を密にしている。また、市主催の研修に参加し、地域包括センター主催の勉強会や指導にも必ず参加している。		市の担当者にケアマネージャー会議の枠を広げてもらい、ケアマネージャー以外の参加も認めってもらうことなど、事業所の要望を積極的に市にあげていくことを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員がそれぞれ利用者の担当を決め、健康状態や金銭管理の報告、生活の様子を知らせるお手紙を書き、毎月のホーム便りとともに家族に送付している。また、家族の来訪時にも受診報告や利用者の様子を伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との信頼関係を築きながら、意見、要望を言いやすい雰囲気作りに努めている。直接言いにくいことも言いやすいように、苦情、相談窓口は母体の法人になっている。意見、要望があれば、速やかに検討し対応している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	同系列法人内の異動は最小限に止めるようにしているが、止むを得ず異動する場合には、利用者が不安な気持ちにならないように十分に説明を行うなどの配慮を行っている。また、ユニット間の異動を行うこともあるが、利用者と共に顔馴染みになっており、影響はほとんどない。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	毎月、ミーティング時に勉強会を行い、また、母体の法人で行われる研修にも参加している。外部研修にも参加し、研修後は報告が行われ、職員間で共有し、ケアの向上に役立っている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	職員は北海道グループホーム協議会主催の研修に積極的に参加し、ケアの向上に活かしている。管理者や計画作成者は、地域包括支援センター主催の研修、また事例研修や他のグループホームの見学に参加し、同業者と情報交換を行っている。		同業者との職員間レベルでの相互交流を検討し、相互の優れている所を見学することによって情報交換や意見交換を行い、さらにサービスの質の向上に役立たせることを期待する。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	事前に利用者宅を訪問し、家族から情報収集を行ってから本人、家族に事業所を見学してもらい、納得した上で入所となっている。見学に来た時は、馴染んでもらうように他の利用者や職員と和やかに話をしたり、お茶を飲んだりして、安心感を持てるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は利用者とは支え合う関係を理解しており、料理の味付けや畑作りなどを教えてもらい、また、調理の下ごしらえ、畑の収穫などを一緒に行って支え合う関係を築いている。時には利用者から励まされたり、教訓を得たり、人生の先輩として職員が学ぶことも多い。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に独自のアセスメントシートを用いて、本人や家族から生活歴や家族構成とともに思いや希望を聞き取り、情報を収集している。また、日々の関わりの中から利用者の思いや意向を汲み取り、職員会議の時に本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月、職員会議の後、担当者会議を開き、職員間で話し合い、家族からの意見や要望を考慮しながら介護計画を作成している。また、今年度は管理者が介護目標を見ながら介護記録を取れるような環境作りを整え、フォルダーを工夫し、独自の介護記録様式を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、基本的には6ヶ月に1度であるが、毎月担当者会議を行い、利用者の状態によってはその都度、介護計画の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医の受診や買い物支援、また、知り合いの家に行きたい利用者の送り迎えなど柔軟な支援を行っている。また、月に1度は法人のバスを借りてドライブに出かけ、誕生日には本人の食べたい物を聞いて提供するなど、本人の要望に沿った支援を行っている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診支援を行い、また、母体の協力医療機関による医療連携が行われ、訪問看護師による日常の健康管理が行われている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化した場合における対応にかかわる指針」を作成している。重度化した場合に、家族と話し合い、同意書をかわし、医療機関、職員とともに連携しながら方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報などの書類は事務所に保管している。通信などの写真の掲載や居室の前の表札なども、家族から同意を得ている。日常のケアにおいても、羞恥心に配慮した言葉遣いや守秘義務の徹底は周知されている。面会簿も個票になっており、個人情報は守られている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、朝の食事時間など希望があれば、利用者が起きてきた時間に対応することもある。また、ミシンをかけることが好きな利用者は居室でミシンかけをしたり、歌や民謡が好きな方には歌の支援もしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備や後片付けは利用者の力量に応じて一緒に行われ、利用者と職員は同じテーブルで一緒に食事をしている。献立は法人の献立をベースにしているが、誕生日には利用者の好きな物を作り、利用者の希望を取り入れている。また、利用者の好みに合わせ、納豆の嫌いな方には別な物を提供するなど配慮している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は週2回を目安に朝から夕方まで好きな時間に入ってもらっている。夏の暑い日にはいつでも入れるようにし、必要に応じてシャワー浴や清拭も対応している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者の力量や興味に応じて、食事の準備や後片付け、おしぼりたたみ、野菜の収穫、料理の味付けなどの役割支援を行っている。また、ドライブや敷地内の散歩、買い物支援、風船パレーや歌、ボランティアによる琴の演奏などのお楽しみの支援も行っている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>夏場には、ドライブや敷地内の畑仕事、買い物支援を行っている。冬場はどうしても閉じこもりがちになるので、事業所の中での体操やレクリエーションを行い、体力維持に努めている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は施錠していないが、夜間のみ施錠している。安全のため、センサーをつけている。2階の階段からの転落防止のために、利用者に不穏な状態がみられ、職員がフロアにいない時のみ、2階の出入口を施錠することもある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練は年2回行われ、夜間を想定して行われている。火事や行方不明者がでた時の非常時の地域協力体制も、運営推進会議を通して地域の方が連絡網に加わったことで、協力関係が構築されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の食事量や水分量を個別に記録しており、職員間で共有している。また、利用者の状態に合わせ、おかゆや刻み食など個別に対応している。糖尿病の方には、病院からの指示で食事の量やご飯の量を調節している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>1階の居間兼食堂の大きな窓からは敷地内の畑が見え、2階の居間兼食堂は片面がすべて窓になっており、近所の庭が眺められ、季節を感じられる。共有空間は木目調で統一され、居間には季節の飾り物が置かれ潤いがあり、家庭的な雰囲気である。居間にはソファがいくつも置かれ、利用者が思い思いに憩える場を提供している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室には、洗面台、ベッド、クローゼットが設置され、写真や家具、テレビ、カーテン又ミシンなどが持ち込まれ、各々居心地よく暮らせるように工夫がなされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。